

こどもの食物アレルギー出張研修会を 開催しました

2023年12月から2024年1月にかけて、県内4つの医療圏別にこどもの食物アレルギー出張研修会を開催しました。対象は保育施設・幼稚園、小中学校の教職員、児童福祉施設職員と消防職員などで、計214名の方に参加いただきました。講師は、小児アレルギー疾患を専門とする医師と、東北地区小児アレルギーケア研究会に所属の小児アレルギーエドゥケーター（PAE）が務めました。

県内ほとんどの教育・保育施設に食物アレルギー有病児が在籍しており、児童に関わる全ての教職員は、食物アレルギーに対する正しい知識を緊急時対応の技術を習得することが求められています。一方で、食物アレルギーに関する研修会は都市部での集合型が多く、地方で働く方々には参加しづらい環境にありました。そこで、県内の医療圏毎に教職員・消防職員向けに開催することで県内の食物アレルギーへの理解と対応の向上を目指し、研修会を企画しました。

実施内容は、医師による食物アレルギーの病態と治療に関する講義と、PAEの指導の下エピペン®トレーナーを用いたエピペン®の使い方の実技と事例ミニドラマの供覧により緊急時の対応について学びました。また、後半では参加者自身の勤務先が未就学児を対象としているか、またはそれ以上かで2つのグループに分かれ、緊急時の対応について模擬事例に沿って実際に体験と見学を実施しました。代表の方々に、アレルギー児役、初期対応役、連絡係役、管理者役などを事例に沿って演じていただき、対応のポイントや消防への通報について全体で共有しました。

参加者からは、研修での学びを自施設に持ち帰り、他の職員にも周知し実務に活かすことができそう、エピペン®の使い方に対する不安感が軽減されたと前向きな感想が多く寄せられました。

